

<p>地域・学校・生徒の実態</p> <p>【生徒】 少人数で人間関係が固定化している面はあるが、素直で学習や特別活動などに意欲的に取り組んでいる生徒が多い。自信をもって自分の考えを表現する力が弱い。 【地域・保護者】 教育への関心が高く、学校の教育活動に協力的である。 【学校】 校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。</p>	<p>学校教育目標</p> <p>「なりたい自分」に向かって挑戦する生徒の育成</p> <p>「総合的な学習の時間」の目標</p> <p>探求的な見方・考え方を働かせ、地域の人やもの、事柄に関わる3年間の学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方について考えることができるようになるために、以下の資質・能力を育成する。 (1)地域の人やもの、事柄に関わる探求的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の良さや課題、それに関わる人々の思いについて気づく。 (2)地域の人やもの、事柄から課題を見だし、その課題を解決に向けて学習計画を立てたり、収集した情報をもとに考えたりする力を育成するとともに、目的に応じて効果的にまとめ・表現する力を身に付ける。 (3)地域の人やもの、事柄についての探求的な学習に、主体的・協動的に取り組む姿勢を身に付けるとともに、地域貢献について考え、自分自身の生き方を決定できる能力を育成する。</p>	<p>保護者・地域・教職員の願い</p> <p>・地域の特色を生かし、学年にあった学習内容の習得 ・「情報収集、整理・分析、まとめ・表現」の学習活動の重視と、プレゼンテーション能力の育成 ・協動的な学習を通して自己を大切にできる態度の育成 ・体験的な学習の重視</p> <p>関係諸機関との連携</p> <p>【1年】民生委員、高齢者、公民館、社会福祉協議会、小学校 【2年】大竹市CSW推進委、各中学校、各事業所、小学校 【3年】小学校、地元の高校等上級学校</p>
--	---	--

内容及び育成を目指す資質・能力				
学年	探求課題	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
一 学 年	・今の自分と将来の夢	・主体的に活動していく際に必要な組織的な動きを理解できる。	・自分自身を見つめ、自分自身について分析することができる。【整理・分析】 ・自分の夢や自分の生き方について考えたことを、他者に伝えることができる。【まとめ・表現】	・仲間と協力しながら、意欲的に課題解決に取り組もうとする。 ・学習を通して、自己の生き方を考え、夢や希望をもとうとする。
	・地域のよさや課題、地域に暮らす人々の思い	・地域の良さや課題、地域住民や地域のために動かれている方の思いを知ることができる。 ・情報収集の仕方や情報を活用する方法について知り、適切に用いることができる。	・小学校での学習と関連づけながら、新たな課題設定や学習計画を立てることができる。【課題の設定】 ・収集した情報を整理、分析し、そこから自分の考えを導き、仲間の考えと比較しながら深めることができる。【整理・分析】 ・目的や意図、場面に応じて、表現方法を工夫して自分の考えを分かりやすく伝えることができる。【まとめ・表現】	・仲間と協力しながら、意欲的に課題解決に取り組もうとする。 ・学習を通して、地域のよさや課題について理解し、よりよい関わり方を考えようとする。
二 学 年	・働くことの意味から自分の夢へ	・情報の収集や、情報を活用して発信するなど、課題解決に必要な方法を、目的に応じて適切に用いることができる。 ・大竹市の産業について知り、「働く」ことの意味を理解できる。	・職業や「働く」ことの意味について収集した情報を、視点を明確にして整理・分析し、自分なりの答えをまとめることができる。【整理・分析】 ・職場体験や体験を通して考えたことを、目的や意図、場面に応じて、表現方法を工夫して効果的に伝えることができる。【まとめ・表現】	・学習を通して自分の生き方について考え、夢や希望などをもとうとする。 ・職場体験を通して学んだことを、日常生活や自分の将来と関連づけて考え、自分にできることを実行しようとする。
	・他地域を通して故郷への理解を深める	・他地域と自分たちの地域の特徴や違いについて理解を深めることができる。 ・情報収集の仕方や情報を活用する方法を効果的に用いることができる。	・これまでの学習と関連づけながら、新たな課題設定や学習計画を立てることができる。【課題の設定】 ・京都市や大阪市、大竹市の特徴について、収集した情報を視点を明確にして整理・分析し、伝える目的や相手に応じて取捨選択することができる。【整理・分析】 ・目的や意図、場面に応じて、表現方法を工夫して調べた地域の特徴を効果的に伝えることができる。【まとめ・表現】	・他地域の特徴や文化の違いを通して、自分たちの地域について、自分の考えを深めようとする。 ・仲間と協力しながら、課題解決に向けた探求に取り組もうとする。
三 学 年	・上級学校調べから自分の生き方へ	・これまで学習した情報の収集や、情報を活用して発信するなど、課題解決に必要な方法を目的に応じて適切に用いることができる。 ・上級学校について、種類やその特徴などを理解することができる。	・上級学校訪問等で得た情報を、視点を明確にして整理・分析し、自分の体験を踏まえて、考えを深めることができる。【整理・分析】 ・目的や意図、場面に応じて、表現方法を工夫して学んだことや自分の考えを効果的に伝えることができる。【まとめ・表現】	・学習を通して、自分のこれからの生き方について考え、夢の実現に向けて取り組もうとする。
	・故郷玖波・大竹への地域貢献	・地域の方の思いや願い、自分たちに求められていることなどを改めて理解する。 ・自分たちが考えた地域貢献を実行するためにどんな方法があるか知り、その効果に応じて用いることができる。	・3年間の学習を関連付けながら、自分たちができる地域貢献について解決方法や手順などを、見通しをもって計画することができる。【課題の設定】 ・自分たちが考えたことや収集した情報を整理・分析し、課題解決に向けて方法を考えることができる。【整理・分析】 ・目的や意図、場面に応じて、表現方法を工夫して、自分たちが考えた地域貢献について効果的に発信することができる。【まとめ・表現】	・他者の考えや意見を尊重し、その違いを活かして課題解決に向けて取り組もうとする。 ・仲間と協力しながら、意欲的に自分たちができる地域貢献について考え、実行しようとする。

<p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校からの系統を意識した学習の流れを作成する。 ・全学年を通し、「生き方学習」「故郷学習」を主テーマとした探究的な学習に取り組む。 ・課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の流れを単元に組み込む。 ・多様な表現方法を身に付けさせ、学習成果を表現する場を設定する。 ・学習の振り返りを大切にし、生徒が自分の学びに向き合う機会を持つ。 	<p>【指導方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校や学年の既習を踏まえた学習を行う。 ・体験活動を仕組み、生徒の関心・意欲を高める。 ・生徒の課題意識を連続、発展させる支援と個に応じた指導の工夫を行う。 ・協動的な学習活動を充実させ、対話を通して考えを深める活動を意識する。 ・各教科などとの関連を意識して効果的な指導を行う。 	<p>【指導体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元に応じて学年体制をとり、原則T・Tで指導を行う。 ・生徒の活動の様子や活動予定などは、全教職員が共通理解できるようにする。 ・必要に応じて公民館や民生委員などの外部人材を活用する。 	<p>【学習評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点を踏まえた単元ごとの評価規準を設定する。 ・生徒の制作物やワークシート、振り返りの記述など多様な評価方法を用いる。 ・生徒の評価物を蓄積し、個人内評価を重視する。 ・学年末には、指導計画の評価・改善を行い、次年度に活かす。
---	---	--	--

各教科との関連						
国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育
課題解決のために見通しを持ち、必要な情報を収集し選択する。目的や場に応じて高生や展開を工夫し表現する。	様々な方法で必要な資料を集め、課題解決に必要な資料を選択する。課題設定の仕方、課題解決の方法を多面的・多角的に考える。既習内容との比較を通して世の中を見る視野を広げる。	課題解決のために、見通しを持ち、筋道を立てて考える。数量や図形などに関する数学的な表現・処理の仕方や推論の方法を身に付ける。	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探求する方法を用いて考える。	豊かで美しい響きや楽器の特長を生かして曲にふさわしい歌唱や演奏をする。歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌う。	自分の主題をもち、画面構成などを考え、生き生きと表現し、構想する。表現の意図に応じて材料や用具の特性、その生かし方を考えて表現する。	協働の経験を通して、公正・協力・責任などの態度を身に付ける。安全について考え、判断する。
保健体育	技術・家庭科	外国語科	特別の教科 道徳	特別活動		
	地域の生活環境を良くするために、自分たちができる生活の工夫について考え、行動する。地域の生活に関心を持ち、高齢者や幼児など異なる世代の人々との関わり方を学ぶ。	積極的な態度でコミュニケーションを図る。自分の考えていることを簡単な英語で表現し、相手の言いたいことを理解する。	教材を通して自己をみつめたり、他者と対話したり協働したりすることを通して物事を多面的・多角的に考え、自分の生き方についての考えを深める。	望ましい人間関係と自己を尊重する集団の育成を図る。生徒ひとりひとりの自主性と社会性を育成する。		